KG Lab

10営業日で、アイデアを動くカタチに。

構想を操作できるモックに落とし込み、
チームで確かめ、次の投資判断へ。

FROM IDEA TO DECISION

01 構想をそろえる

02 操作して確かめる

03 次の投資を決める

10営業日は、合意した範囲の操作可能モック（IDEA MOCK）の制作目標です。
PoC・MVP全般の納期を保証するものではありません。

構想を説明するだけでは、判断しにくい。

操作できるものを早めに共有し、次に確かめるべきことを絞ります。

ALIGN

認識をそろえたい

企画書では利用シーンが伝わらず、
関係者ごとに完成像が異なる。

VALIDATE

投資前に確かめたい

価値や技術の不確実性が残り、
本開発の判断材料が足りない。

BUILD

動ける体制が欲しい

社内の開発リソースが限られ、
企画から試作まで進めにくい。

WHO IT IS FOR

経営者・事業責任者 / 新規事業・DX担当者 / プロダクト責任者

判断したいこと
社内で進めるか、追加検証するか、最小構成で公開するか。

いま答えたい問いから、支援を選ぶ。

事業の段階に応じて、必要な支援から始められます。

IDEA MOCK

操作可能モック

どんな体験を提供するか？

主要画面・操作デモ・論点メモ

PoC

技術・実現性の検証

前提条件のもとで実現できるか？

検証結果・制約・次の検証案

LEAN MVP

最小構成の実装

利用者は実際に価値を感じるか？

限定提供版・計測設計

EXTERNAL TECH TEAM

外部特設チーム

誰と、どう継続して進めるか？

役割分担・優先課題・進捗共有

組み合わせ例

IDEA MOCKで利用像を共有し、技術上の不確実性が残る部分をPoCで検証。

画面を触ると、議論が具体的になる。

IDEA MOCK ｜ 主要なユーザー導線を操作できる形にし、関係者の認識をそろえます。

USE CASE

社内提案・顧客ヒアリング

操作デモを見ながら、価値が伝わる
場面や迷いやすい操作を確認。

DELIVERABLES

成果物の例

主要画面・画面遷移・操作デモ
レビューで出た論点と次の検証案



画面サンプル（架空の業務・ダミーデータ）

10営業日の進め方

着手前に、対象ユーザー・主要導線・素材・レビュー担当と日程を合意します。

DAY 01–02

目的と範囲を決める

課題と対象ユーザーを確認。
優先導線と完成条件をそろえる。

DAY 03–04

画面と遷移を設計

主要画面と操作の流れを整理。
レビューで方向性を確認。

DAY 05–08

モックを制作

ダミーデータで主要導線を実装。
想定シナリオで操作を確認。

DAY 09–10

デモ・レビュー

操作デモと合意範囲を確認。
残論点と次の検証を整理。

10営業日の適用条件

着手後、合意した範囲の操作可能モックを制作する目標です。
素材提供・レビューの遅れや追加要件が生じた場合は、範囲と日程を再調整します。
PoC・MVP全般の納期を保証するものではありません。

着手前に、どこまで作るかを決める。

IDEA MOCKの標準的な切り分け。案件ごとに対象・除外・完成条件を合意します。

標準範囲の例

- 代表ユーザーと主要な利用シナリオ
- 合意した主要画面と画面遷移
- ダミーデータによる操作デモ
- レビュー時の論点・次の検証項目

標準範囲から外れる項目

- 本番データ接続・外部システム連携
- 実運用向けの認証・決済・権限管理
- 本番公開・負荷試験・セキュリティ監査
- 継続保守・運用監視・全例外パターン

完成条件の例

想定利用者がダミーデータで「入力 → 内容確認 → 完了」まで操作できる。
追加の機能や検証は、目的と優先度に沿って別途スコープを決めます。

モック・PoC・MVPで、得られる答えが違う。

確認したい仮説に応じて、実装の深さ・データ・評価方法を変えます。

	IDEA MOCK	PoC	LEAN MVP
主な問い	体験が伝わるか	技術的に実現できるか	実利用で価値が出るか
実装・検証範囲	主要画面と操作の流れ	仮説に関係する技術要素	中核機能と計測
データ	ダミーデータ中心	許可済みの評価データ等	限定利用に必要なデータ
成果物	操作デモ・改善論点	評価結果・制約・所見	限定提供版・利用指標
次の判断	利用像を共有し、検証へ	採用・再検証・見送り	改善・拡大・停止

進め方

期限と完成条件は、検証項目や運用条件に応じて個別に設定します。

技術の不確実性を、小さく切り出す。

PoC ｜ 評価条件を先に決め、採用・再検証・見送りを判断できる材料を残します。

01 HYPOTHESIS

仮説を絞る

例：文書の分類候補をAIで
提示し、確認作業を減らせるか。

02 EXPERIMENT

評価する

許可済みの評価データで試し、
正解との一致率と確認時間を測る。

03 DECISION

次を決める

誤りの傾向・運用制約を整理。
追加検証や採用の条件を明確に。

DELIVERABLES

検証レポート / 実験条件・評価結果 / 制約と次の検証案

例：評価対象、比較基準、合格ラインを着手前に合意し、結果と判定を記録。

最小構成で提供し、利用から学ぶ。

LEAN MVP ｜ 対象ユーザーと中核機能を絞り、限定提供と改善判断につなげます。

EXAMPLE / PURCHASE REQUEST

備品申請サービスの限定提供

対象：一部門の申請者・承認者

中核機能：申請・承認・状況確認

計測例：申請完了率・承認までの時間

DEFINE

範囲を絞る

対象、利用シーン、中核機能を決める。

RELEASE

限定的に提供する

権限・データ管理・運用条件を合意する。

LEARN

利用状況を確認する

計測結果と声を受け、改善の優先度を決める。

成果物の例

限定提供版、計測項目の定義、合意した運用・引き継ぎ資料。

役割をそろえ、外部特設チームで進める。

EXTERNAL TECH TEAM ｜ 課題に合わせて、企画・デザイン・開発・AI検証の役割を組成します。

CLIENT

貴社の事業責任者

事業目的と優先順位を示す

業務知識・素材を共有する

レビューと意思決定を担う

定例
レビュー
意思決定

KG & COMPANY

進行・企画	論点整理、計画とレビュー進行
デザイン	体験設計、画面と導線の具体化
開発・AI	モック実装、技術検証、開発

運営方法の例

定例で優先課題・デモ・判断事項を共有。担当者、頻度、成果物は開始時に合意します。

AIを制作に活用し、人が品質を確認する。

目的に合わせて作業の下準備を速め、業務への適合性と成果物の品質は担当者が確認します。

PLAN

要件と仮説の整理

ヒアリング内容から論点を整理。
画面案や各シナリオを比較する。

MAKE

制作の下準備

ダミーデータやコードの草案に活用。
担当者が画面と実装を調整する。

CHECK

レビューの補助

確認観点やテスト案の作成を支援。
担当者が操作し、挙動を確認する。

データの取り扱いとレビュー

利用ツールと入力できるデータの範囲を事前に合意します。
機密情報・個人情報は承認済みの環境と取り扱い手順に従い、必要に応じてダミーデータを使用します。
AI出力の事実関係・業務ルールとの整合・動作を人が確認します。

事業の場面から、最初の一歩を決める。

いま必要な判断を起点にすると、成果物に必要な範囲を具体化できます。

社内の投資審査を控えている

主要導線をデモし、検証に進む判断材料をそろえる。

IDEA MOCK

AIが自社業務に使えるか見極めたい

評価データで精度・作業時間を測り、採用条件を整理する。

PoC

少数の利用者に先行提供したい

中核機能で限定提供し、利用データと改善点を集める。

LEAN MVP

企画と開発を継続して進めたい

外部の担当者を組成し、貴社と優先課題を定例で確認する。

EXTERNAL TECH TEAM

相談の起点

対象ユーザー、解きたい課題、次に判断したいこと。構想段階からご相談いただけます。

IDEA MOCK 料金プラン

画面数を目安にプランを選び、操作できる範囲は導線・役割・画面内の操作から決めます。

22万円（税込）～｜HTML画面モック

静的HTMLをボタンやリンクで切り替え、
紙芝居のように画面構成・遷移を確認。
サーバー処理・データ保存は対象外。

55万円（税込）｜サーバー操作モック

サーバー上で入力値に応じた処理や状態の変化を、
合意した主要導線で試せます。
確認したい処理は着手前に決めます。

プラン	料金（税込）	期間の目安	画面数の上限	制作範囲の例
STARTER	55万円	10営業日	25画面	共通レイアウトで主要導線1本
STANDARD	110万円	15営業日	50画面	申請者と承認者など、複数の役割
ADVANCED	220万円	20営業日	100画面	複数の業務導線、差し戻しなどの分岐
ENTERPRISE	330万円	25営業日	150画面	複数の役割を含むシステム全体像
CUSTOM	要見積もり	個別設定	個別設定	150画面超、または操作・分岐が複雑

画面の数え方と、操作できる範囲

画面は構成や操作が異なる単位で数えます。文言やダミーデータの差し替えは同一画面として扱います。
検索・入力チェック、承認や差し戻し、役割の切り替えなどは、再現する範囲を着手前に合意します。
確認ダイアログやエラー表示は、個別の設計が必要な場合に制作範囲へ含めます。

画面数は上限です。料金・期間は合意した制作範囲に基づく目安で、10営業日はSTARTERの制作目標です。
PoC・LEAN MVP・EXTERNAL TECH TEAMの料金と期間は、支援内容に応じて個別にご提案します。

アイデアの壁打ちから、ご相談ください。

解きたい課題と次に判断したいことを伺い、最初に作る範囲と進め方をご提案します。

01
構想を共有
対象ユーザー・課題・希望時期

02
進め方を整理
モック・検証・実装・体制の選定

03
範囲を合意
対象・成果物・完成条件・日程

新規事業・プロダクト開発のご相談
公式サイトのお問い合わせ窓口から、構想の概要をお知らせください。

会社概要

KG Lab 運営会社

KG Lab

KGアンドカンパニー株式会社

ITコンサルティング
システム開発・運用
事業開発支援

公式サイト kgandco.com

会社名	KGアンドカンパニー株式会社
代表者	代表取締役CEO 梅村 圭司
所在地	〒106-0041 東京都港区麻布台3-1-5 麻布台日ノ樹ビル 樹ホール内
電話番号	03-6811-1209
事業内容	ITコンサルティング、システム開発・運用、事業開発支援

会社情報の出典 KGアンドカンパニー公式サイト